



**研究者総覧：尾関 修治 (OZEKI, Shuji)**

氏名	尾関 修治 (OZEKI, Shuji)	
職名	教授	
所属講座	国際多元文化専攻アメリカ言語文化講座	
学位（専攻分野）	修士（文学）・名古屋大学	
メールアドレス	<a href="mailto:ozeki@nagoya-u.jp">ozeki@nagoya-u.jp</a>	
個人のホームページ	<a href="http://class.lang.nagoya-u.ac.jp/~ozeki/">http://class.lang.nagoya-u.ac.jp/~ozeki/</a>	
研究分野	英語教育	
	CALL（コンピュータ支援による言語教育）	
	eラーニング	
現在の研究テーマ	LMS を利用した英語 eラーニングの開発	
所属学会	外国語教育メディア学会	
	大学英語教育学会	
主要著書・論文	「クラウド時代の英語教育を求めて」 英語教育. 大修館書店. 2011.	
	「大学でのメディア活用法」 英語教育. 大修館書店. 2009.	
	「英語授業での LMS の利用手法とその効果」 中部大学教育研究. 2008.	
	「英語教師のマルチメディア教材活用法」 英語教育. 大修館書店. 2006	
	インターネット時代の英語教育（訳書）. ピアソン・エデュケーション. 2001.	
自己紹介文	<p>1959年、名古屋生まれ。名古屋大学文学部卒業、名古屋大学大学院文学研究科修了という名古屋育ち。東海学園女子短期大学、福井大学教育学部、中部大学を経て2009年より現職。大学2年生で初めてコンピュータに接し、プログラミングに魅了される。4年生で大学院生との共同研究のデータ処理（方言地図の作成）に大型計算機を使う。以来、研究領域は英語教育であるものの、教材開発、事務処理、趣味とコンピュータに関わり続ける。初代の Macintosh 以来、主に Mac を使い続けているが、サーバー管理の必要上 Unix や Linux、また人付き合いの必要から Windows も</p>	 <p>某 iPhone 用ゲームでレストランを経営中。今日はメニューにフルーツサラダしかないよ。</p>

	<p>使う。PC の自作や修理からプログラミング、ネットワークの敷設作業、サーバーの設定や管理まで、必要に迫られ、また興味の赴くままに守備範囲を広げてきた。それ以外の趣味では、洗車と読書。読書は乱読。小説を読み出すとその作家の全作品を読み尽くすかすっきり嫌いになるまでは止まらない。料理も好きで、和洋中スイーツと、和菓子以外は大体作る。</p>
<p>受験生へのメッセージ</p>	<p>英語学習でのコンピュータとネットの利用には大別して2種類があります。コミュニケーションの手段としての利用と、効率的に四技能を習得する道具としての利用です。これと対応して教授者の側での利用法も2種類あり、学習コミュニティ（教室）を構成・管理するための利用と、自律的学習を支援・管理・評価するための利用です。両者をつなぐために教材や学習管理システム (LMS) が開発され使用されています。尾関研究室ではこのマトリックスのそれぞれについて研究することが可能です。つまり、教室の中でのコミュニケーションをコンピュータを使い支援する活動はどのようなものか、あるいは自習環境で学習者が相互にコミュニケーションし、それを管理・評価するテクニック、e ラーニングによる自律的学習と教室内での活動のブレンド、自律学習と評価テストのすべてをネットワーク環境で行なう技術といったさまざまな英語学習と指導について興味のある方をお待ちしています。</p> <div data-bbox="890 591 1310 965" data-label="Image"> </div> <p>英語授業の web ページに学生のプレゼンテーション動画を掲載。お互いにコメントする。(非公開)</p>